

新緑の多摩丘陵に行く

# ～小沢城址から日本民家園～

日時:2014年4月9日(水) 天候:晴れ 21000歩 約14km

集合:JR南武線「稲田堤駅」10時

コース:稲田堤駅→法泉寺→旧三沢川→小沢城址→寿福寺→農業支援センター→読売ランド前駅→寺尾台団地  
→生田浄水場→土渕不動院→三峰神社→広福寺→戸隠不動跡→日本民家園→向ヶ丘遊園駅(解散)

参加者:小島(L)・佐藤伊・藤崎・吉越・神谷・大平・伊藤眞・斉藤優・沢崎・小山文・福士・市村・高橋紀・草野  
落合・鈴木美 計16名 (※鈴木美さんは当日入会)

以前から企画していたコースがやっと実現出来ました。この多摩丘陵帯は古代から人々が生活していた環境に恵まれた地域で、また中世には多くの合戦が行われた場所でもあります。今回歩いた小沢城址も、鎌倉時代には実戦があった城跡で、歴史に残る「分倍河原合戦」もこの近くで行われました。数日前の雨で桜もかなり散ってしまいましたが、里山の山桜や今盛りの枝垂れ桜が目を楽しませてくれました。やや距離がある上に場所によってはアップダウンがキツイ場面もありましたが、最高の天気にも恵まれて爽やかなウォーキングの一日となりました。

<フォトレポート 小島>



JR南武線稲田堤駅。皆さん馴染みがない駅です。



駅前には狭いので暫く歩いて法泉寺へ。



法泉寺下の駐車場で佐藤伊さんによるストレッチ。



旧三沢川に架かる「延命橋」。全員寿命が延びました！？



ここから多摩自然遊歩道。小沢城址の入り口です。



ここには戦時中、防空陣地があったそうです。



新緑の尾根道を歩きます。



ここは井戸跡。かつては2mほどの深さがあったそうです。



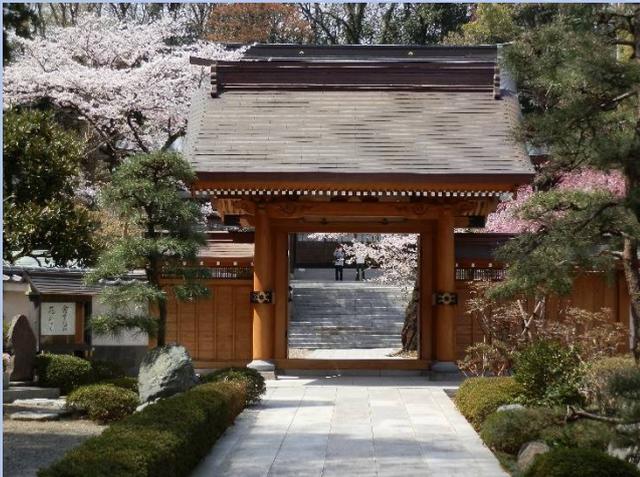
小沢城址の碑の前で。バックの新緑が映えます。



小休止のあと城址を下ります。



山桜でしょうか、まるで日本画のような景色です。



寿福寺山門。下見の時には境内のソメイヨシノと枝垂れ桜が競って咲いていましたが...



満開の枝垂れ桜を背に集合写真です。鮮やかなピンク色にKWCの熟女も負けそう？

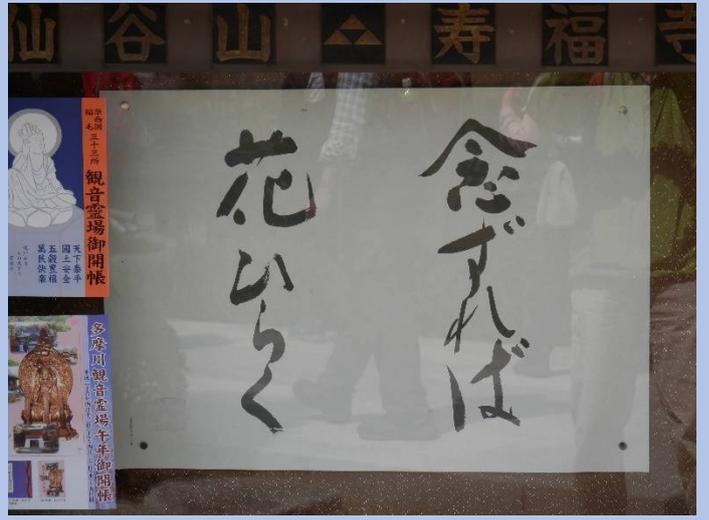


花は女性だけの方が似合うようです！

●小沢城址『新編武蔵風土記稿』の伝えるところによると、鎌倉時代初頭の小沢城は、小沢小太郎の居城であったようです。小沢小太郎は源頼朝の重臣として活躍した稲毛三郎重成の子で、この地域の支配にあっていたものと考えられます。丘陵地形が天然の要害を形づくっているこの地は、鎌倉街道が通る交通の要衝で、鎌倉時代から戦国時代にかけて度々合戦の舞台になりました。現在は緑地公園として保存されており、その中には空堀や物見櫓、土塁などと思われる遺構が残っています。



暫し休憩し昼食場所へ。



山門の横にはこんな文字が・・・果たしてどう？



農業支援センターで昼食です。丁度枝垂れ桜の下でのベンチが空いていたので、全員花見弁当と洒落ました。



裏側は読売ランドがすぐそこです。



食後の上りは楽勝！・・・



でもない。



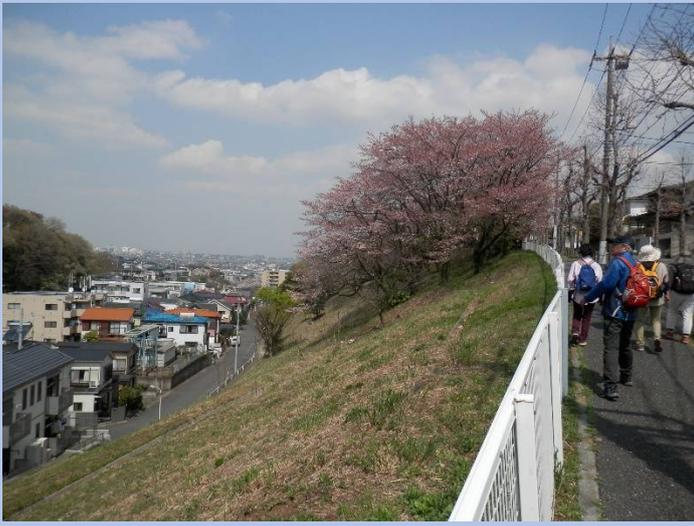
ここから多摩美の森に入ります。



二手に分かれた上道と下道の合流点。



日本女子大付属高校の入学式です。



寺尾台緑地に沿って上りが続きます。



ここの桜はもう終わりです。



八角堂跡。団地開発でここに移築再現されました。



急階段の下りは慎重に...



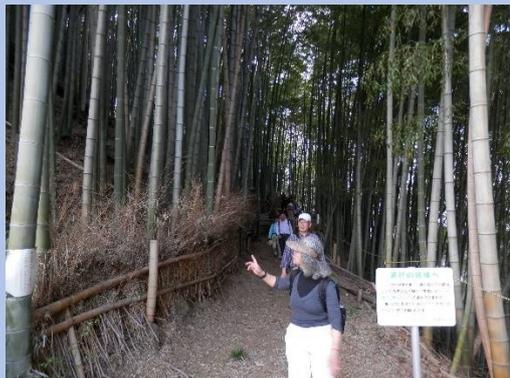
東生田緑地。新緑が見事です。



日向山休憩所で水分補給。



皆さんかなりお疲れです。



竹林の道を歩きました。



ゴールが近づきほっとした？



天神社の急階段。



ミニ湿原から日本民家園に向かう道。



民家園内の舞台前広場で。陽も傾いてきました。



屋内にはボランティアの方がいて説明してくれました。ここには東日本の古民家を中心に水車等も移築されています。



二階から・・・何だか皇族方のような手の振り方ですね。



ここは「白川郷」という蕎麦所です。夏はとろろ蕎麦が旨い。



※晴れて風もない絶好の日和のなか、日本民家園の見学も終わりました。約14kmの起伏に富んだコースでしたが皆さん頑張って歩いていただきました。川崎市北西端の里山を巡るこのルートは、普段来られる機会のない場所ですが、これを機に川崎市の魅力を再発見していただければと思います。アフターは9人で駅前の「庄や」にて、酔わない程度でお開きとなりました。